

■平成29年度 公立学校 指定都市を除いた都道府県及び指定都市 [体力合計点]

都道府県・指定都市		小学校		中学校	
		男子	女子	男子	女子
全国平均値		54.16	55.72	42.11	49.97
1	北海道	53.95	55.23	41.19	46.59
2	青森県	54.40	56.72	42.28	49.45
3	岩手県	54.86	57.49	44.22	51.74
4	宮城県	52.94	54.72	41.20	48.11
5	秋田県	56.67	58.78	44.22	50.82
6	山形県	54.01	56.61	42.26	49.95
7	福島県	53.98	56.39	41.37	49.43
8	茨城県	56.85	59.66	45.62	54.19
9	栃木県	53.31	55.91	41.58	50.01
10	群馬県	53.48	55.42	42.43	51.08
11	埼玉県	56.59	59.00	45.20	54.30
12	千葉県	54.88	56.91	43.67	52.20
13	東京都	54.34	56.03	40.92	49.01
14	神奈川県	53.41	54.34	40.62	47.82
15	新潟県	56.83	59.03	44.79	51.91
16	富山県	55.29	57.30	42.53	50.15
17	石川県	56.80	58.20	45.13	52.71
18	福井県	57.92	60.04	45.89	54.28
19	山梨県	53.48	54.99	42.86	50.19
20	長野県	54.69	55.69	42.35	49.04
21	岐阜県	54.03	55.85	42.88	51.00
22	静岡県	53.58	56.08	42.94	51.57
23	愛知県	52.29	54.08	40.43	49.27
24	三重県	53.76	55.46	41.88	50.25
25	滋賀県	53.72	54.53	42.50	50.04
26	京都府	53.67	54.63	41.68	49.77
27	大阪府	52.90	53.82	40.39	48.46
28	兵庫県	53.15	54.07	40.35	48.98
29	奈良県	53.64	55.41	42.68	49.90
30	和歌山県	55.02	56.74	41.72	49.75
31	鳥取県	54.90	56.13	42.01	50.06
32	島根県	55.04	56.10	41.19	48.06
33	岡山県	54.64	56.12	43.27	51.20
34	広島県	57.69	59.23	44.60	52.99
35	山口県	52.90	54.34	41.45	49.38
36	徳島県	53.48	55.14	41.78	49.37
37	香川県	54.05	55.68	42.04	49.83
38	愛媛県	53.65	55.61	40.49	49.41
39	高知県	53.77	55.29	42.55	49.42
40	福岡県	55.40	56.32	43.14	50.02
41	佐賀県	54.43	55.24	42.91	50.01
42	長崎県	53.53	55.11	41.89	49.81
43	熊本県	54.41	55.92	41.89	49.98
44	大分県	56.64	58.08	44.05	50.50
45	宮崎県	55.09	56.58	43.24	50.62
46	鹿児島県	53.13	54.57	41.24	49.16
47	沖縄県	53.30	54.19	41.59	48.31
1	札幌市	52.76	53.11	39.73	45.39
2	仙台市	54.27	55.16	43.12	49.89
3	さいたま市	53.87	55.42	41.95	51.26
4	千葉市	54.70	56.59	43.93	53.86
5	横浜市	52.72	53.18	40.66	47.40
6	川崎市	53.01	53.46	37.26	44.82
7	相模原市	52.47	53.11	40.16	46.99
8	新潟市	55.84	57.98	45.42	53.42
9	静岡市	54.06	56.26	42.78	51.72
10	浜松市	54.33	56.69	42.24	52.03
11	名古屋市	51.67	53.42	39.14	47.16
12	京都市	53.36	53.97	41.75	48.58
13	大阪市	52.79	54.58	41.00	49.27
14	堺市	52.80	53.73	39.43	46.20
15	神戸市	53.51	53.99	40.66	48.76
16	岡山市	53.65	54.65	42.51	49.79
17	広島市	54.86	56.06	42.86	50.34
18	北九州市	54.37	55.96	44.57	51.77
19	福岡市	54.67	54.98	42.63	49.91
20	熊本市	53.89	55.45	41.68	49.56

大阪市子どもの体力づくり強化プラン

★「子どもの体力向上推進委員会」において子どもの体力向上策を検討します

★すべての区において、子どもの体力向上に関わる取組にチャレンジします

- ・大阪市教育局では「子どもの体力向上推進委員会」を設置し、学識経験者、トップアスリート、PTA協議会、幼・小・中の教育研究会から、委員として参加していただき、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえ、子どもの体力等に関する特徴を分析し、体力向上に向けた方策について全市へ示しています。
- ・区内すべての小中学校と区が連携して、各区役所が中心となり各区の子どもの状況を踏まえて、スポーツ大会や体育的行事など、子どもが楽しく参加できる取組を企画・実施します。

具体的な取組

自校の課題を明らかにし、取組を進めるために

1 すべての小・中学校で「体力づくりアクションプラン」を策定します

○すべての小・中学校で「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施します

- ・すべての小・中学校で、「検証シート」を用いて自校の結果を分析し、成果と課題を明らかにします
- ・各校において、自校の成果と課題に基づいて「体力づくりアクションプラン」を策定し、PDCAサイクルを確立に取り組みます

自主性を引き出し、意欲的に体育・スポーツに取り組むために

2 体育の授業・スポーツ行事を充実します

○幼児期からの体力向上策を検討します

- ・幼児教育の充実のために平成26年度に策定された「就学前教育カリキュラム」との関連を図りながら、幼児期からの様々な運動について、取組をすすめます

○指導内容・指導方法の改善をすすめます

- ・幼稚園、小学校、中学校のモデル校園において、トップアスリートや有識者を講師に招いて「体

力向上モデル校園講習会」を実施します

- ・教員が実際に体を動かし学ぶ、「子どもの体力向上実技研修会」を実施し、指導力の向上に努めます
- ・幼稚園、小学校、中学校の教育研究会と連携をし、効果的な授業の研究をすすめます
- ・「子どもの体力向上推進プログラム」を校園ネットワークシステムに掲載することで「体力向上モデル校園の取組」や「子どもの体力向上推進委員会の提言」を全ての学校園で共有します

○スポーツの大会への積極的な参加をすすめます

- ・小学校体育連盟、中学校体育連盟と連携をし、春季、秋季の総合体育大会、総合スポーツ交歓会等のスポーツ大会の充実に努めます
- ・大阪市や大阪府の主催する事業などの気軽にスポーツを楽しめる事業の紹介に努めます

運動・スポーツに対する興味・関心を高めるために

3 様々な機関の活用をすすめ、広くスポーツに関わる機会を提供します

○学校・地域・家庭の連携をはかり、子どもが運動やスポーツに親しむ機会を増やします

- ・「いっしょにのぼそう！ 子どもの体力」（保護者向けのリーフレット）を配布し、保護者や地域の方々と共に子どもの体力向上に向けて取り組みます
- ・長期休業中や休日等に行われる、地域でのスポーツ行事への参加をすすめます

○中学校における部活動のあり方を検証し、生徒が参加しやすい自主的な活動として、部活動づくりを図ります

- ・中学校における部活動の振興・充実と教員の過重負担解消を図るため、平成 27 年度から取り組んでいる「民間団体活用方式」を継続し、平成 30 年度からは、教員の長時間勤務の解消を図るため「部活動指導員方式」導入し、部活動支援事業を充実させます

○子どもの体力を向上させるための取組について、区役所をはじめとする様々な関係機関・関係団体と連携し、総合的に検討します

- ・子どもの体力を向上させるために、子どもが気軽に楽しく参加できる取組を企画・実施します
- ・一流のスポーツを生で見る機会を情報提供します
- ・経済戦略局と連携し、トップアスリートが子どもに指導する『トップアスリートによる「夢・授業」』をすすめます
- ・総合型地域スポーツクラブと連携します

いっしょにのばそう！ 子どもの体力



大阪市教育委員会

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果分析をもとに、大阪市の子どもたちの力を伸ばすために大切なことをまとめています。家庭・学校・地域が連携して子どもたちの体力向上に取り組みましょう！

地域や家庭で



「がんばっているよ！」「できそうだね！」
ご家庭で見直してみましょう！

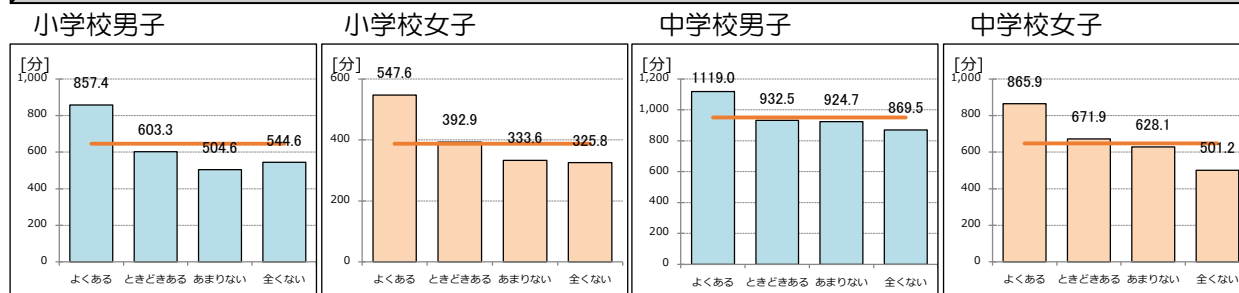
- ☐ **地域や家庭で子どもと一緒に
運動やスポーツに関わりましょう**
 - ・ 大人の関わり方で子どもの総運動時間が変わります
- ☐ **運動・食事・睡眠を大切にする習慣を
子どもと一緒につくいましょう**
 - ・ 運動・食事・睡眠など基本的な生活習慣は大切です
- ☐ **部活動や地域のスポーツクラブ等を利用して、
子どもが体を動かす機会をつくいましょう**
 - ・ 部活動や地域のスポーツクラブでの活動が、
子どもの体力に大きくかかわっています

「体力」をつけるためには・・・

～平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から～

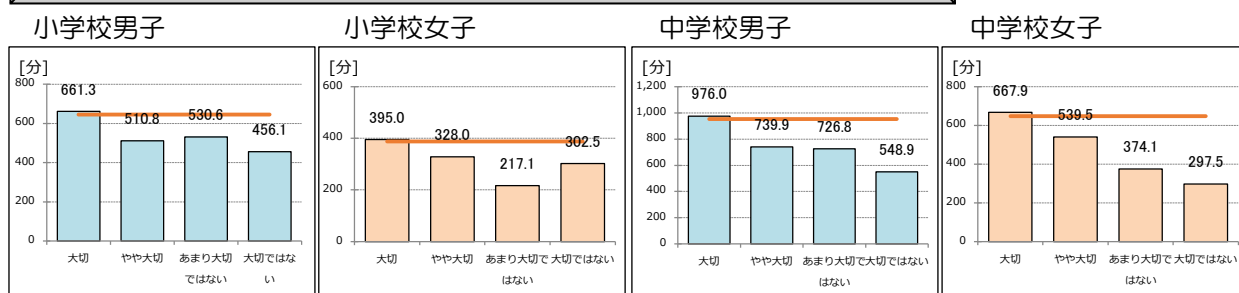
- ◆ 大阪市においても、家の人から運動やスポーツを積極的に勧められたり、一緒にしたり、見たり、話をするほど、1週間の総運動時間が長い児童・生徒の割合が高いという結果でした。（次頁グラフ1）
- ◆ 「健康に運動は大切」、「健康に食事は大切」（次頁グラフ2）、「健康に睡眠が大切」（次頁グラフ3）と思っている児童・生徒ほど、体力合計点が高く、1週間の総運動時間が長いという結果でした。
- ◆ 大阪市においても、男女ともに学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属している子どもは、1週間の総運動時間が長く、体力合計点が高いという結果でした。（次頁グラフ4）

「家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられるか」と1週間の総運動時間（グラフ1）



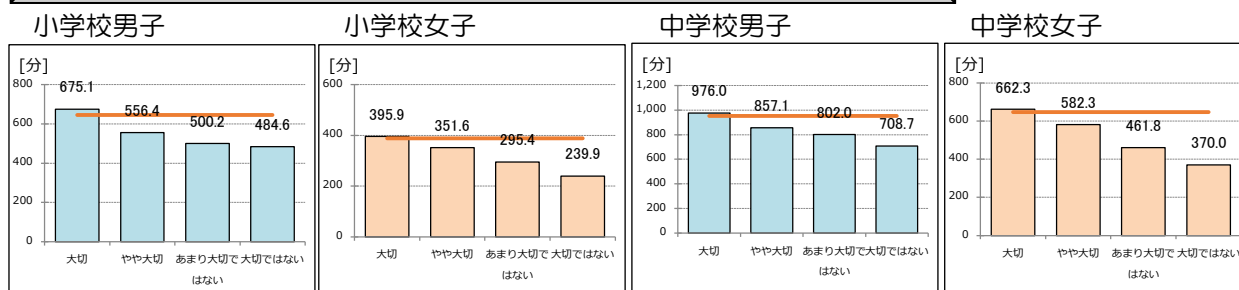
※各グラフの横のラインは、それぞれの全国平均値（1週間の総運動時間）です。

「健康に食事は大切」と1週間の総運動時間（グラフ2）



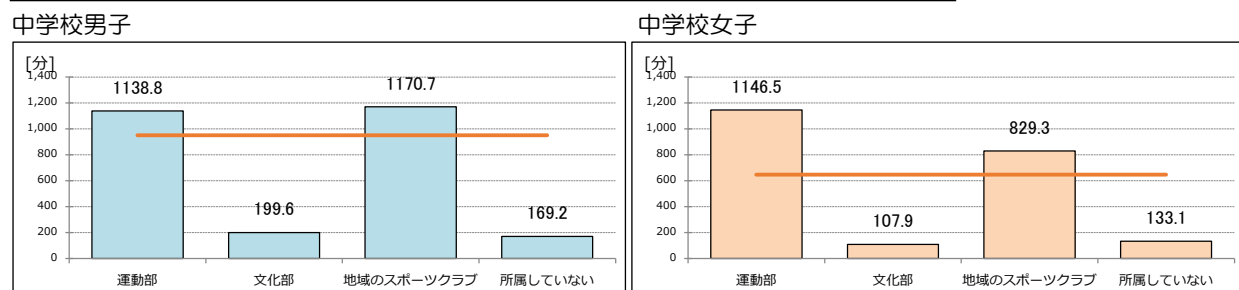
※各グラフの横のラインは、それぞれの全国平均値（1週間の総運動時間）です。

「健康に睡眠は大切」と1週間の総運動時間（グラフ3）



※各グラフの横のラインは、それぞれの全国平均値（1週間の総運動時間）です。

「部活動への所属状況」と一週間の総運動時間（グラフ4）



※各グラフの横のラインは、それぞれの全国平均値（1週間の総運動時間）です。

家の人や地域の人子どもと一緒に運動やスポーツに関わることが大切です。



健康のために「運動」「食事」「睡眠」を大切にするなど、規則正しい生活を意識することが大切です。

子どもの体力には、学校の運動部や地域のスポーツクラブでの活動が大きく関わっています。